

































## ファイルアクセスログ出力

- ① 上記の内容で指定の出力可能期間内で期間を指定し「出力」ボタンをクリックします。

※出力期間の開始日付～終了日付に指定できる最長期間は1ヶ月です。

※yyyy/mm/dd 形式で入力か以下のカレンダーが表示されるので、クリックして期間を設定します。

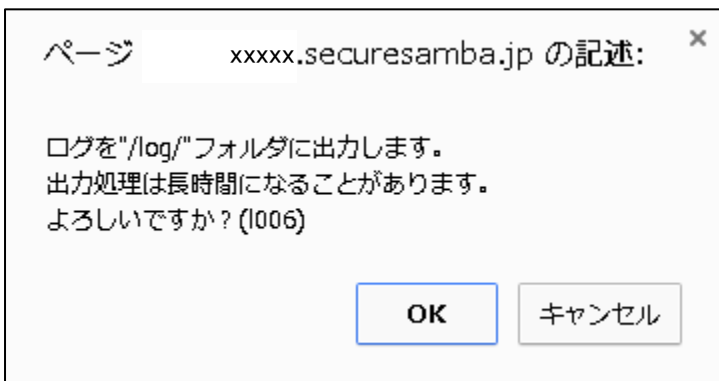


出力可能期間 : 2015/12/02 ~ 2015/12/21

出力期間の開始日付～終了日付に指定できる最長期間は1ヶ月です。

期間  ~

- ① 以下のポップアップが表示されるので「OK」ボタンをクリックします。



- ② アクセスログがあると以下のように出力されたファイルが表示されます。





③ 管理者権限のあるユーザーでサーバーにアクセスします。

以下では WebShare の例を記載していますが、SAMBA Remote からファイルを取得することができます。

セキュア  
SAMBA  
2.0.7  
xxxxx.securesamba.com

ユーザー名  
パスワード

Languages  
日本語

ログイン

④ 「log」フォルダを開きます。

セキュア  
SAMBA  
ログアウト

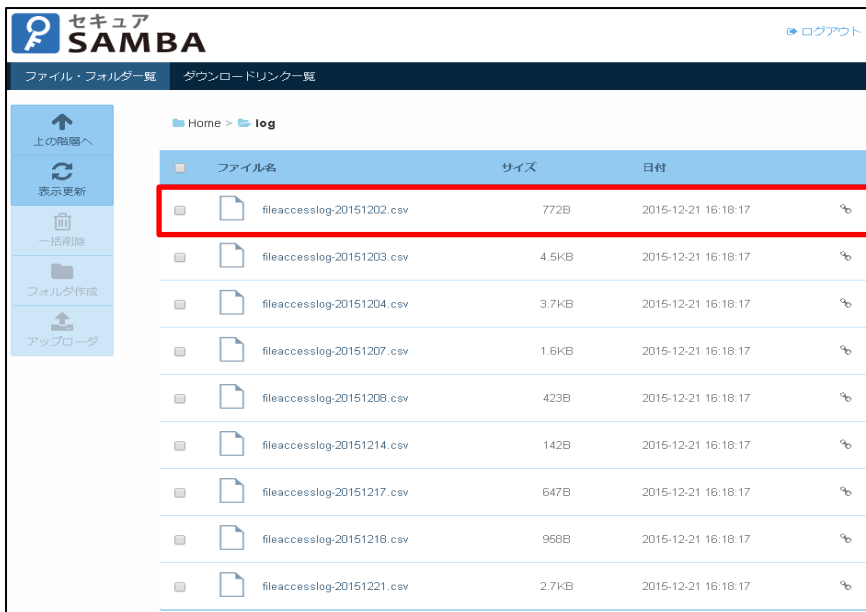
ファイル・フォルダ一覧    ダウンロードリンク一覧

Home

ファイル名	サイズ	日付
admin		
backup		
log		

上の階層へ  
表示更新  
一括削除  
フォルダ作成  
アップローダ

⑤ 以下の名前のファイルが保存されています。（例:fileaccesslog-yyyymmdd.csv）



### 【ファイルアクセスログ 出力ファイル】

No	項目名	内容
1	番号	連番になります。
2	ユーザー名	アクセスしたユーザーのユーザー名になります。
3	氏名	アクセスしたユーザーの氏名になります。
4	成功／失敗	操作の結果になります。 「ok」: 成功、「ng」: 失敗
5	操作	署名/アーカイブ署名 「pread」: 読み込み、「pwrite」: 書き込み、「mkdir」: フォルダ作成、「rmdir」: フォルダ削除、 「rename」: フォルダ名／ファイル名変更、「unlink」: ファイル削除
6	対象(フォルダ／ファイル)	操作の対象となったフォルダまたはファイルのパスになります。
7	操作日時	操作が行われた日時になります。
8	備考	その他の情報になります。

### 1.1.9. 機能実行条件

#### 署名の実行条件

本機能を使用する際は以下の条件であることを前提とし、これを遵守しなかった場合の動作は保証しません。

#### 実行条件一覧

#	条件
1	PDF ファイルのサイズが 80M 以下であること
2	PDF ファイルのセキュリティ設定で内容のコピーを許可していること
3	一度に署名を行うファイル数が 10 件以内であること
4	他システムにより署名等の操作が PDF ファイルに対して行われていないこと
5	CHSM に鍵を登録してから 30 分以上の時間が経過していること

## 制限事項

本機能には以下の機能は実装されておらず、注意を払って運用する必要があると共にユーザが手動で操作しなければならないことがあります。

### 未実装機能一覧

#	機能	説明
1	証明機能	ファイルに証明を付加する機能
2	署名の検証機能	ファイルに付加されている署名が正常なものなのかを自動検証する機能
3	PDF 以外への署名機能	PDF 以外のファイルへ署名を付加する機能
4	有効期限自動延長機能	証明書の有効期限をチェックし、期限間近のものは延長する機能
5	eviDaemon ユーザ作成機能	eviDaemon で使用するユーザを作成する機能
6	CHSM 鍵預け入れ機能	クラウド HSM へ鍵を登録する機能
7	ES-T 署名最大回数超過抑制機能	ES-T 署名の有効回数(5 回)を超える ES-T 署名の発行を検知し警告する機能
8	アーカイブ署名検知機能	アーカイブ署名発行済みのファイルに対する ES-T 署名の発行を検知し警告する機能
9	ファイルサイズ超過検知機能	署名後のファイルサイズが 80M を超えてしまい、次の署名発行を行えなくなることを検知し警告する機能

以上